

広報



No. 207

平成2年9月15日

発行・編集 国見町企画商工課

町民ウォーキング大会に 350人… 2～3
 9月15日は敬老の日…………… 4～5
 快適な生活環境を旨ざして…………… 6
 献血に70名が協力…………… 7
 おしらせ…………… 8～9
 公民館だより…………… 10～11
 わだい…………… 12



▲大木戸小学校

きょうから
2学期
 '90 **9月**

夏休みが終わり、8月27日、2学期がスタートしました。

夏休みの思い出をいっぱい作り、真っ黒に日焼けした児童たちが元気に登校。絵日記や図画、工夫をこらして作った工作などを持ち寄り、久しぶりに会った先生や友だちと楽しそうに思い出話などをしていました。



▲まだまだ先は長い



▲きれいに撮ってよ!

厚樫山頂めざし350人 奥州合戦記念 町民ウォーキング大会



▲参加者の見守る中、いよいよ除幕

「あつかし山奥州合戦記念・町民ウォーキング大会」は八月十五日、町・町健康づくり推進協議会・奥州合戦八百年祭記念碑部会の主催で行われ、町内外から約三百五十人が参加しました。

この町民ウォーキング大会は、一一八九年（文治五年）に全国統一をめざした源頼朝の率いる鎌倉軍と奥州（現在の東北地方）を支配していた藤原軍との間で、激戦を繰り広げた奥州合戦を記念し、往時をしのび、合わせて町民の健康増進と体力づくりを図るために開催されたものです。

藤田小グラウンドで開会式を行ったあと、のぼり旗を先頭に厚樫山山頂をめざして元気よくスタート。参加者の皆さんは途



▲とってもおいしいよ



▲エイっエイっオー!



▲もう一本いい?



▲めざすは山頂



▲人も車もラッシュ



▲あつかし太鼓を披露

健康増進・「追憶の碑」除幕式
 藤田小グラウンド
 厚樫山 8月15日(水)

中、冷たい水でのどを潤しながら、片道5kmの道のりを約一時間かけて歩きました。
 山頂では富永町長のあいさつ、松浦芳蔵記念碑部会会長の経過報告、佐藤善次郎撰文者のあいさつとあつ、追憶乃碑」の除幕式が行われました。当日、抽選で選ばれた一條聡君(藤田小五年)と佐藤桃恵さん(大木戸小三年)がロープを引き、参加者は拍手で除幕を祝いました。
 また、佐七流藤田唯子保存会の皆さんが勇壮な「あつかし太鼓」を披露、ムードを盛り上げました。
 帰り道は暗やみの中、記念品のちようちんに火をともし、疲れもみせず、夏の日、楽しい思い出ができました。



▲見事自転車を射止めた後藤治恵ちゃん(藤田小2年)



▲最高齢者の佐藤さんに特別賞



▲もう一息

9月15日は「敬老の日」

おじいちゃんながいおじいちゃん おばあちゃん

(タイトルを書いたのは森江野幼稚園の、
引地美由紀ちゃん(6歳)です。)

社会に貢献してきたお年寄りの皆さん。そのお年寄りの生き方を学び、私たちが老人になったときのことを考えながら、ふだんのお年寄りとの心の通い合いを大切にしましょう。

平成2年9月15日現在 (85歳以上の方、敬称略)

九月十五日は敬老の日。また、この日から一週間は老人福祉週間です。
私たちの町には、六十五歳以上のお年寄りが、四月一日現在で千九百八十五人います。高齢者の割合は、町全人口の一六・七%となっており、しかも高齢者の比率は年々増える傾向にあります。

- ▽102歳 鴨田惣太郎(内谷西)
- ▽95歳 松浦繁一郎(大木戸)
- 佐久間うめよ(大町南) 菊地ちか(貝田)
- ▽94歳 秦ナチ(駅前) 菅野キヨノ(内谷東) 鈴木キセ(川内)
- ▽93歳 一條ヨシ(太田川)
- 黒田ヨシノ(泉田下) 佐久間エツ(第二) 吉田シツマ(第四) 佐藤トキハ(第七) 村上ユリ(第九) 佐久間ナヨ(第二) 遠藤フク(光明寺) 佐藤トヨ(北部)
- ▽92歳 野田長四郎(並柳)
- 佐久間代次郎(第十一) 渡辺ミヨ(滝山) 阿部クラ(大木戸) 阿部ツルノ(大木戸)
- ▽91歳 菅野富蔵(内谷西)
- 菅野喜一(内谷東) 斎藤勘吉(徳江北) 吉見照代(宮町北) 富塚キチ(小坂) 実沢サキ(第九) 佐藤サダ(高城)
- ▽90歳 熊田一怡(大町北)
- 吉田重兵衛(山崎北) 半沢幸七(山崎小節) 八巻勘次

- 部(第七) 松浦武助(石母田原) 佐藤倉治(第十二) 八島けさを(本町) 仲田トク(宮町北) 吉田マキ(山崎小節) 小野カツミ(第二) 瀬戸ハルミ(川内) 鈴木フサノ(川内)
- ▽89歳 奥山亀一(駅前) 松浦権治郎(石母田西) 仲野助太郎(鶴町) 菊地忠次(石母田原) 実沢平作(第八) 岩城キノ(大町南) 板垣サダ(大町南) 渡辺ウメ(宮町南) 赤坂ハル(内谷西) 小幡イマ(第一)
- 佐久間マサヨ(第二) 鈴木ラク(貝田) 星野ツキ(光明寺) 吉川ヨシイ(山根) 桜沢ヨツ(中部) 佐藤あやを(川内) 瀬戸トミヨ(中部)
- ▽88歳 佐藤福寿(本町) 佐藤寅一(宮町北) 須田滋一(町東) 佐藤善次郎(小坂) 朽木松吉(前田) 佐野謙(第八) 遠藤喜平(山根) 羽賀トキワ(駅前) 高橋アイ(本町) 吾妻サタヨ(第三) 村上トヨ(第八) 佐藤キイ(貝田) 鈴木キ(川内) 鈴木タケ(川内) 鈴木木タケ(川内)
- ▽87歳 高橋徳太郎(大町南) 吾妻寅吉(鶴町) 八島正二(山崎北) 武田岩吉(泉田下) 小野寺省二(泉田中) 吉田嘉蔵(第四) 後藤正明(第八) 寺島長太郎(第十一) 大開清(貝田) 石川外蔵

- (貝田) 阿部勇吉(貝田)
- 谷津源一(山根) 国分いちの(錦町) 後藤ヨチ(大町南) 中野よすみ(鶴町) 佐藤ナヲ(石母田東) 高橋ヨシエ(山崎北) 吉田マツノ(山崎小節) 熊坂テツ(内谷西) 大津テツ(第三)
- 佐藤はるの(徳江北) 佐野キヨ(第八) 佐藤セン(貝田) 玉手トミ(中部) 佐藤キン(原町)
- ▽86歳 佐藤元一(小坂) 阿部林右エ門(泉田下) 菊地唯七(第十一) 桜沢兼太郎(高城) 板橋珠治(並柳) 松浦真(並柳) 鈴木清六(川内) 岡崎ハツヨ(大町南) 菊地ハク(大町南) 本間キヨ(大町北) 徳刈こ(本町) 五十嵐リヨ(鶴町) 阿部クラヨ(石母田表) 佐藤キハ(石母田表) 黒田ツヨ(宮町南) 横山サキ(小坂) 佐藤ハル(小坂)
- 佐藤ギン(泉田上) 鴨田セキ(内谷東) 佐久間芳(第二) 石川ヨツ(第四) 八巻キヨ(第七) 佐野キヨ(第七) 佐久間ハル(第十一) 佐藤ヒロ(貝田) 八島アキ(高城) 佐久間カネ(川内)
- ▽85歳 羽根善助(錦町) 遊佐保平(錦町) 市山政市(大町南) 沼田次郎(宮町北) 佐久間吉(宮町北) 林徳治(泉田上) 佐藤喜一(泉田上) 穴戸己吉(石母

わたしのおじいちゃんとおばあちゃん

藤田小二年 緑上 幸恵

私のおじいちゃんとおばあちゃん、昭和のはじめに生まれました。おじいちゃんはお酒が大好きで、わがままでがんばります。でも、いつもはやさしくて、とってもはたらきものです。毎日、ランニングと半ズボンで畑に行くので、真っ黒です。おばあちゃん、いつももやさしくてニコニコしています。でも、おこるとすくすくわけて、「ばあちゃんの家では、ばあ

- 田表) 佐藤清重(第二)
- 大波一郎(第九) 蓬田勝(第九) 高橋徳治(第十)
- 高橋勇記(第十一) 阿部辰三(大木戸) 大波スヘ(宮町北) 菅野イチ(前田) 後藤みの(前田) 長谷川さよ(前田) 谷津トメ(第二)
- 大津テル(第一) 武田フミ(第三) 引地カネヨ(徳江北) 佐野フヨ(第八) 蓬田ゆり(第九) 吉田ハル(貝田) 松田トミエ(貝田) 星野タリイ(光明寺) 佐野サタヨ(光明寺) 遠藤エン(光明寺) 桜澤ハツ(高城) 渡部キヨシ(高城) 松浦カツヨ(大木戸) 鈴木カツイ(川内)

「ちゃん、池田先生なんだぞ」といってしかります。それは、私たちがよい子になれるように、しかつてくれるのだと思ってい

ます。

私は、三歳まで弟といっしょに、そだててもらいました。おぼあちゃんは、むかし話がとて

もじょうずです。じつは、おぼあちゃん、藤田小学校の大せ

んばいなのですが、私くらゐのときに、遠くの山の中の大きなお魚やさんに、こもりにやられ

たそうです。それで、むかし話の天才なのです。魚りようりも

じょうずです。私の大好きなみそパンも作ってくれます。二人ともたいへん苦労したそうです

が、いつもニコニコでがんばってきたそうです。ときには、私

らにいたらずらをする、かわい

いおぼあちゃんです。

夏休みするとき、みちのく国立公園に行ってきました。とて

もきれいなところで、車いすのおじいちゃんや、こしのすこ

くまがったおぼあちゃんに会い

ました。私も大きくなったら、やさしいおじいちゃんやチャ

ームングなおぼあちゃんをつれ、い

ろんなところへ行きたいと思

います。

おじいちゃん、おぼあちゃん、いつまでも元気でなかく、が

大すきなおじいちゃん おぼあちゃん

森江野小四年 八巻 洋

ぼくのうちにはおじいちゃんとおぼあちゃんがいいます。と

ても元気で、ないての日は朝の四時ごろに起きてもう仕事を

しています。

おじいちゃんは、毎日ほたけに出て家族のために、野さいや

くだものを作ってくれています。おいしい野さいやくだものをた

くさん食べられるのは、おじいちゃんのおかげだと思います。

それから、おじいちゃんは鳥をとる名人です。鉄ぼうを持って、

りよう大のメリーとしろをつれ

て山に行きます。そして、きじや山どりをとって帰ってきます。

きじをうつときはメリーが大活やくするそうです。ほくもいっ

しょにつれていってもらいたいの

ですが、おじいちゃんか「五年生になったら、つれ

いってあげる」といっています。おぼあちゃんか料理をしてみんなにこち

うしてくれま

ます。おぼあちゃんは外の仕事も、私たちの世話をしてくれたり

します。ひいばあちゃんの時はいつもひいばあちゃん

のそばにいて、ごはんを食べさせたり、おふろに入れてあげたり

していつもやさしくお世話を

していました。ひいばあちゃんは一月に九十一歳でなくなっ

てしまいました。おせわをしていたおぼあちゃんとはとて

まがへんなふうになって、とてすぐ気がついて

「ほら、洋、えりがへんだよ」と言ってくれます。むかし話を

してくれたり、ほくたちのせわをしてくれたりしてとて

もやさしくまもって

くれている大すきなおじいちゃんとおぼあちゃん、いつま

でもなかく元気でいてく

ださい。

ほくたちをやさしくまもって

各課紹介 5

農林課

「豊かで住みよい、活力ある町づくり」の目標のもと、農林課は農林振興係と農林土木係の二係十名で「豊かで安定した農



職員紹介

農林課長(☎内線230) 佐野貞治

農林振興係(☎内線231・232・233) 佐藤政弘・武田友江・中野孝雄 引地由則・渋谷康弘

農林土木係(☎内線235・236) 菊地孝吉・村上健一・佐野 功 後藤登美子

- 係の主な分掌事務
- ◆ 農林振興係(五名)
 - ・ 農林振興計画の樹立及び実施に関する事
 - ・ 主要農産物の需要調整に関する事
 - ・ 農林業団体の育成及び連絡調整に関する事
 - ・ 病害虫防除及び家畜の防疫に関する事
 - ・ 畜産及び養蚕業の振興に関する事
 - ・ 農村工業等導入に関する事
 - ・ 狩猟及び有害鳥獣駆除に関する事
 - ・ 財産区に関する事
- ◆ 農林土木係(四名)
 - ・ 農業基盤の整備事業に関する事
 - ・ 土地改良区に関する事
 - ・ 林道、治山事業に関する事
 - ・ 農林業施設の災害復旧に関する事

平成2年度 国見町公共下水道工事箇所図



快適な生活環境を 目ざして

— 下水道事業 — 3年目の公共下水道工事

国見町では、福島県が進める流域下水道関連の公共下水道事業として、昭和六十三年度から工事に着手し、こととして三年目を迎えます。また、県が受け持つ浄化センターの建設も年内には始まろうとしており、平成五年度末一部供用開始に向け、いよいよ本格的に下水道事業が実施されます。

快適な街づくりに不可欠

下水道事業は、長い年月と、ばく大な事業費をもって完成する大きな事業です。

しかし、お金がかかるからといって下水道建設を怠ってはいけません。

ば、二十一世紀の国見町は公害とドブ川の町になってしまいませう。

私たちの子孫に、自然に恵まれた美しい生活環境を残すため下水道の建設は欠かすことのできない事業です。

下水道は、五十年先、百年先の生活をも快適にできる未来への財産なのです。

町とみなさんで負担

家庭からの雑排水（トイレ、フロ、台所などの排水）を一ヶ所に集める公共汚水ますの設置場所は、公共用地に接する私有地側にお願しています。該当するご家庭には、公共汚水ます設置確認申請書を提出していただき、位置を明確に記入してもらうこととなります。



汚水本管から公共汚水ますまでは町が行いますが、トイレ、フロ、台所などから公共汚水ますまで、また、くみ取り便所から水洗便所への改造は、処理開始から三年以内に自費でやっていたかなければなりません。

前にも述べたこととおり下水道は、膨大な事業費をもって完成する大きな事業です。国からの補助金だけでは、完成することができません。このため下水道を実施する各町町では、地方債（町の借入金）や町費（一般会計）をあてています。

しかし、町費にも限度がありますので各市町村では、受益者負担金として事業の一部を下水道を利用されるみなさんに負担していただいています。

この受益者負担金や下水道使用料などは、今後条例などで定めていくこととなります。

快適な生活環境に

国見町は、豊かで住みよい活力ある町づくりを展開し、人間性豊かな地域社会の創造を目標としています。

下水道が普及すれば各家庭から流れた汚水は、汚水管により浄化センターに集められ、きれいにされて川や海に戻されます。

今までのように台所、風呂などの生活汚水が、側溝や川に流れなくなり、悪臭や汚い水たまりを解消し、蚊やハエの発生を防ぎます。また洗剤で泡立った水面は消え、河川は、本来の自然で美しい姿に戻り、街並みも美しくなります。

私たちの郷里にある河川を整備し、水をきれいにし、昔のように魚の住める環境ができたから、それが、町民全体の財産となるのではないのでしょうか。そんな街づくりをしたいと考えております。

みなさんのご協力をお願いします。

今年度の工事

今年度の下水道工事は、昨年度の続きの商店街を中心に、上の図の箇所約六百メートルの管布設工事を、九月下旬頃から平成三年三月まで行う予定です。

この工事が実施されますと、交通や家の出入りなどいろいろな面でご迷惑をおかけすると思いますが、下水道早期完成のため、みなさんのご理解とご協力をお願いします。

なお、公共下水道事業についてのお問い合わせは役場下水道課（☎832111内線261）へお願いします。

ふるさとの文化財

⑦

徳江河岸考

菊池利雄



幕領時代、この地域より上納される御城米は、阿武隈川沿いに置かれた福島・梁川などの河岸より津出しが行われていた。これらの河岸跡は阿武隈川の

氾濫によって河道が変わったの、明治以降における大規模な川の付替えや、堤防の構築等によって、往時の河岸所在地の確認を困難にしている。徳江河岸もその一つであり、ここでは現在の一万分の一地形図に、明治初めに作成された旧村地籍図の小字分布を落としたりしたもの、現地調査の所見を加え、河岸跡の推定を試みようとするものである。村絵図等にもみられる河岸景観は、川に突き出た積荷を行う船付場、御城米を一時保管する寄倉・河岸守宅などがあり、寄倉は洪水の危険を避けるため船付場から離れた、高所に置かれる場合もあった。近世末期から明治初めにかけての徳江村における阿武隈川の流路は、東原・二階門々付近では南側の崖下を、直接洗うように東流し、現在の上川原は大部分、阿武隈川の流路であり、関場・雷前との境界が川の西端となっており、南から東へと流れの向きを大きく変えていた。(間々、八景は崖地。地元の名を現す地名である。)

倉は、東原の崖地を降りた雷前あたりにあったといわれ、河岸跡は伝えを欠き明らかでないが、この村の関場に隣接する伊達崎村には古川岸なる地名が残されている。信達地方の河岸の設置

箇所についてみれば、伏黒・瀬上・梁川・東大枝の河岸にみられるように、村境に置かれることが多く、とされることから(福島大学教授田村、徳江河岸は隣村の古川岸の地にあつたと推定される。徳江河岸の設置は、この地域が幕領となった寛文四年(一六六四)以降、渡辺友意や河川瑞賢等による阿武隈川舟運の開闢期にさかのぼり、徳江・森山・塚野目・藤田村の御城米や、上郡河岸の焼失後の文化十三年(一八一六)からは、屋代郷高島(高島形界、御城米の津出しが行われたとされるが、延享二年(一七四五)の「信夫郡庄野村明細帳」には「往運助人馬の儀、是ハ米沢高島御城米運送、桑折小坂町匠者、相詰御城米附送り申候。当村より小坂迄道法六里相詰、伊達崎川岸迄道法式里程付送申候」とあり、この伊達崎河岸(地理的に徳江川地)期にさかのぼるとみられ、小坂宿より藤田宿を経て徳江河岸にいたる道筋の、徳江村佐野台には小口留番所が置かれていた。

は、東原の崖地を降りた雷前あたりにあったといわれ、河岸跡は伝えを欠き明らかでないが、この村の関場に隣接する伊達崎村には古川岸なる地名が残されている。信達地方の河岸の設置

箇所についてみれば、伏黒・瀬上・梁川・東大枝の河岸にみられるように、村境に置かれることが多く、とされることから(福島大学教授田村、徳江河岸は隣村の古川岸の地にあつたと推定される。徳江河岸の設置は、この地域が幕領となった寛文四年(一六六四)以降、渡辺友意や河川瑞賢等による阿武隈川舟運の開闢期にさかのぼり、徳江・森山・塚野目・藤田村の御城米や、上郡河岸の焼失後の文化十三年(一八一六)からは、屋代郷高島(高島形界、御城米の津出しが行われたとされるが、延享二年(一七四五)の「信夫郡庄野村明細帳」には「往運助人馬の儀、是ハ米沢高島御城米運送、桑折小坂町匠者、相詰御城米附送り申候。当村より小坂迄道法六里相詰、伊達崎川岸迄道法式里程付送申候」とあり、この伊達崎河岸(地理的に徳江川地)期にさかのぼるとみられ、小坂宿より藤田宿を経て徳江河岸にいたる道筋の、徳江村佐野台には小口留番所が置かれていた。

は、東原の崖地を降りた雷前あたりにあったといわれ、河岸跡は伝えを欠き明らかでないが、この村の関場に隣接する伊達崎村には古川岸なる地名が残されている。信達地方の河岸の設置

箇所についてみれば、伏黒・瀬上・梁川・東大枝の河岸にみられるように、村境に置かれることが多く、とされることから(福島大学教授田村、徳江河岸は隣村の古川岸の地にあつたと推定される。徳江河岸の設置は、この地域が幕領となった寛文四年(一六六四)以降、渡辺友意や河川瑞賢等による阿武隈川舟運の開闢期にさかのぼり、徳江・森山・塚野目・藤田村の御城米や、上郡河岸の焼失後の文化十三年(一八一六)からは、屋代郷高島(高島形界、御城米の津出しが行われたとされるが、延享二年(一七四五)の「信夫郡庄野村明細帳」には「往運助人馬の儀、是ハ米沢高島御城米運送、桑折小坂町匠者、相詰御城米附送り申候。当村より小坂迄道法六里相詰、伊達崎川岸迄道法式里程付送申候」とあり、この伊達崎河岸(地理的に徳江川地)期にさかのぼるとみられ、小坂宿より藤田宿を経て徳江河岸にいたる道筋の、徳江村佐野台には小口留番所が置かれていた。

悪天候の中

70名が献血に協力

八月十日、移動採血車が来町し、農協大枝支所前、一心堂薬局前、福梁製作所前の三ヶ所で献血活動を行いました。当日は、台風の影響で、風雨が強くあいにくの天候でしたが、富永町長はじめ、商工会青年部の皆さんなど、多くの方々に協力いただき、七十名(申し込み者は七十八名)の方々から献血のご協力をいただきました。

献血ありがとうございました

(敬称略・順不同)

・印の方は四〇〇cc協力者です(一般協力)

- 桜沢アサ子 玉手 富子
- 佐藤 洋子 玉手 真司
- 松浦 幹男 佐藤 清春
- 板橋セツ江 佐藤 利郎
- 新井美津江 佐藤 喜次
- 佐藤 智 後藤 幸枝
- 古川 忠一 引地 正憲
- 高橋 秋子 高橋 力
- 高橋 和美 武田 安孝
- 富永 武夫
- 吉田 貞男
- 八巻 忠義
- 菅原 文子
- 蓬田 恭子
- 吉田 義勝
- 穴戸 浩寿
- 鈴木 俊博
- 紺野 徹
- 斎藤 政利
- 古川 栄一
- 斎藤 俊夫
- 鈴木 幸雄
- 後藤登美子
- 武田 幹夫
- 佐藤 孝
- 菊地 弘美
- 阿部 正一
- 鈴木 哲也

- 斎藤 芳弘
- 武田 雅夫
- 佐藤 敏光
- (福梁製作所)
- 山内 克美
- 高橋 守
- 吉田 昌二
- 八島 満
- 渡辺 三男
- 高橋 慎二
- 菅野 俊則
- 八巻 八郎
- 斎藤 章子
- (国見農協)
- 熊坂 チェ
- 大内 幸子
- (国見タイツ)
- 高橋 貴夫
- 高橋 修一
- 鈴木 廣茂
- 吉田 昭一
- 遠藤 美喜
- 高橋 正志
- 斎藤 光幸
- 引地 正仁
- 片平 忠夫
- 大橋 順一
- 我妻 三男
- 丸山 新吉
- 佐藤 勝雄
- 矢目富士子



国保
国民健康保険
被保険者証の更新

現在皆さんに交付している国民健康保険被保険者証(保険証)は、今年九月三十日で有効期間が切れ、使用できなくなり更新の方法は、各地区担当の国保協力員(母子保健推進員)に提出し、更新を受けることとなりますので、次の日程まで国保被保険者証を、協力員宅に届けるようお願いいたします。

なお、①保険証、②保険証の交付を受けている方も、有効期間が切れますので、いっしょに提出してください。

また、保険証を紛失された方は、印鑑を持参のうえ、役場保健課で直接更新となります。

地区	提出期限
森江野・大枝	9月23日
藤田・山崎	9月24日
小坂・大木戸・石母田	9月25日

■問い合わせ

役場保健課国保係
☎852111内線143

国民年金
制度改正により

!! 学生も加入!!

学生の皆さんの国民年金の加入については、現行法では適用対象から除かれ、任意とされておりましたが、法律の改正により、二十歳に達した学生は、平成三年四月一日から国民年金被保険者として加入適用を受けることに改正されました。

国民年金に加入していない限り、将来年金を受給するとき、「基礎年金制度が原則として二十歳になった月から六十歳の前月までの四十年間の加入を前提として計算支給されます」ので、学生期間が未加入の方は、満額の老齢年金が受けられない、また、万が一障害者になっても障害年金の支給が制限されるなどの場合もありますので、忘れてないで加入手続きをしましょう。

国民年金の届出は

正しく行いましょう

国民年金の届出は、種々ありますが、原則として本人の届出により手続きを行うことになっています。しかし、届出が遅く

なったり、間違いがありますと、年金の記録に不備が生じ、年金の支払いが遅れたり、年金が受けられなくなったりします。届出は、正確に遅れないようにしましょう。

■問い合わせ

役場住民福祉課年金係
☎852111内線135

(NTT)
無料措置申し込み

一〇四番への電話番号問い合わせは、平成二年十二月一日から有料(一番号案内につき30円)になる予定ですが、次に該当する方は、事前の申し込みにより、今までどおり無料で番号案内を利用することができます。

▼対象者

- 身体障害者
- 視覚障害(一〜六級)・上肢・

体幹・乳幼児期以前の非進行性脳病変による運動機能障害(一〜二級)

●戦傷病者
視力障害(特別項症)六項症
上肢障害(特別項症)二項症

■問い合わせ

福島市大町9の20
NTT福島支店(☎116)

(手続きには、身体障害者手帳または戦傷病者手帳が必要です)

少年非行を
防止しましょう!

例年、夏休みが終わった九月は、一年を通じて少年の家庭が最も多い時期となります。これは、夏休み中の不規則な生活や気のゆるみなどから、「遊びぐせ」がついたり、「学校ざらい」となることが多くなるためです。また、家出をした結果、非行

に走ったり、暴力団の毒牙にかかるなど、福祉犯の被害に遭うケースも多くなります。

(非行の前兆をチェック)
少年が家出や非行に走るには、事前に必ずその前兆が現われます。

- 行先を告げずに出外したり、夜遊びをする
- 金使いが荒くなる
- 服装が派手になる

などが前兆の初歩的なものと言えますから、その原因についての究明と排除に心がけましょう。

今月の納税

九月は、固定資産税(第三期)の納税の月です。
お忘れなく、納期限(十月一日)までに納入しましょう。

<10月1日は国勢調査>

10月1日、全国一斉に国勢調査が行われます。

国勢調査の結果は、福祉・雇用・住宅対策など、国や都道府県・市区町村の行政に利用されます。

調査の対象は、赤ちゃんからお年寄りまで日本に住んでいるすべての方です。

9月23日から30日までの間に、調査員が世帯ごとに調査票を配布します。漏れなく、正確にご記入ください。

ご記入いただいた調査票は10月1日から7日までの間に、調査員が集めに伺います。

皆様のご協力をお願いいたします。



国勢調査

平成2年10月1日
総務庁統計局 国見町

数字から 描く日本の ゆめ・みらい



国見ゲートボール愛好会優勝

県新記録達成か!!

八月二十八日、二十九日の両日にわたり飯坂球場にて、第七回飯坂温泉杯親善ゲートボール大会が開催されました。
大会には、県内外から九十六チームが参加し、十六面のコートで、炎天下のもと熱戦が繰りひろげられました。



▲見事優勝…国見ゲートボール愛好会

国見町公民館
☎85-2676
(有) 4156

第九回伊達地方スポーツ大会が、九月二日開催されました。当町代表は、硬式テニス(団体)で四連勝するなど好成績を

がんばった 国見代表

この好成績は奇跡ともいえるべきもので、七試合中六試合が赤(先攻権)を得たことがこの好運を生んだ要因のひとつです。また、この成績は県ゲートボール協会の新記録ではないかと県本部に問い合わせ中で、結果によっては日本ゲートボール連合会にも日本で何番目の記録か、問い合わせるそうです。これからも練習を積み重ねて、この栄誉を守り続けて欲しいものです。



▲優勝…国見バレークラブ



▲各試合とも熱戦を展開



町民、森江野町民プールは八月三十一日で終了しました。今年には天候に恵まれ一四、四六人の町民の皆さんにご利用いただきました。
また利用された皆さんで、忘れ物にお心当りの方は公民館で保管しておりますので、早めにおいで下さい。
○水泳メガネ ○ボウシ
○タオル ○その他

町民プール

にぎわった

- ◇硬式テニス 団体戦 優勝(国見A四連勝) 個人戦 (ダブルス)
- ◇男子 優勝 高鶴光雄、高橋 孝
- ◇女子 優勝 吉田まき子、野中ゆみ
- ◇家庭バレーボール 団体戦 優勝(国見バレークラブ)
- ◇剣道 優勝(国見剣友会) 二連勝(六回優勝)
- ◇個人戦 準優勝 菅井和宏
- ◇バレーボール 個人戦 優勝 絵夢
- ◇六人制団体 優勝 準優勝(国見バドミントンクラブ)
- ◇個人戦 優勝

男子 準優勝 松浦 勇
◇軟式野球 団体戦 準優勝(国見町役場)
藤田スポーツ少年団が優勝
第七回スポ少ソフトボール大会
朝から好天に恵まれた八月十二日、第七回スポーツ少年団ソフトボール大会が、町民運動場で行われました。
大会には、各小学校から五チームが参加、一点を争う好試合が展開され、藤田スポーツ少年団が優勝しました。
なお、この大会で優勝した藤田小チームは、九月二日に行われます第九回伊達地方少年ソフトボール大会に出場します。
なお結果は次のとおりです。
優勝 藤田



▲優勝…藤田スポーツ少年団

準優勝 大木戸

水と楽しむ

水中遊び



▲水中水入れ競争

少年仲間づくり教室では、夏休みのまったなかの真夏日の八月六日、町民プールで水中スポーツ大会を実施しました。当日は、朝から日差しが強い日で、絶好のプール日です。子供達は早くからプールに集まり、どの顔もうれしき一杯で笑顔がもれていました。水中の玉入れ競争よろしく、ナベをかごに見たてて水入れ競争、鬼が上手に泳げなくてなかなか捕まえられなかった、手なぎ鬼、そしてビーチボールを呼ぶ水の泳ぎなどをして水に親

しみました。水につかっているだけで子供達は、楽しくって大はしゃぎでした。夏休みのいい思い出となったことでしょうか。

「語りつこう民話」を学ぶ

合同学習会

八月二十九日(木)、中央婦人学級、成人学級合同による学習会が開催されました。

「ふるさとの民話と心」というテーマで、講師の梁川町の横山幸子先生は民話の研究をなされていますが、カスリの衣裳にワラ草履というイデな姿、そして



▲熱心に耳を傾けて

民話になりきった話し方には、昔から伝えられてきている民話の心の底まで伝わってしましました。

参加された七十名の学級生も民話を目に浮べながら、感激して、じっと聞き入り、有意義な学習会に満足げでした。

第九回

町長杯争奪ナイターソフトボール大会

始まる

今年大会には二十二チームが参加し九月三日、県北中グラウンドで開会式が行われ、富永武夫町長のあいさつのあと、蓮田英夫教育長の始球式で試合が開始されました。今年には好天に恵まれ、順調に試合が進んでいます。



▲第9回町長杯争奪ナイターソフトボール大会開会式

スポーツだより

◇平成2年度職場対抗ソフトボール大会
と き：9月30日(日)
と ころ：町民運動場

◇第8回町長杯争奪ゲートボール大会
と き：10月4日(木)・5日(金)
と ころ：町民福祉センター前広場

◇高齢者婦人運動会
と き：10月10日(日) 午前8時30分
と ころ：町民福祉センター前広場
参加者：60歳以上の方及び婦人の方、お気軽に参加してください。
楽しい種目を準備しております。
※雨天の場合は、町民体育館で行います。

新米・青二才

「新米のくせに生気な……」などというときの「新米」は、新しく仲間入りしたばかりで、まだ仕事に慣れていない者のことをさします。

これは、新入りの未熟者という意味で、「新前」と発音が近いところから、「転じて」「新米」と書かれるようになったもの。本来の新米といえは、毎年十月ごろに出回る「今年米」のことです。



新米が出れば、前年度の米は「古米」、二年前の米は「古古米」と呼ばれるようになります。

新米の収穫を祝うのが秋祭。十一月二十三日は、国民の祝日「勤労感謝の日」となる前は、天皇が初穂を神に捧げ、親しく新米を食される「新嘗祭」でした。「大嘗祭」は、天皇即位後、最初に行われる新嘗祭です。「新米」に似た表現に、「青二才」があります。「青」は若くて未熟の意。「二才」は、若者という意味する。「新青」が変化してという説、ボラなどの幼魚をニサイと呼ぶのになどとする説などがありますが、語源は「新米」ほど定かではありません。



「モーニング・ワイド福島」 富永町長が町を紹介

去る八月三十一日、NHK放送の「モーニング・ワイド福島」の「町長さん登場」コーナーに、富永町長が出演して、国見町を紹介しました。



▲町の概要を説明する富永町長（観月台公園で）



▲花を添えた八島さん（厚桜山展望台で）

です。

国見町では、八月二十八日に収録が行われました。収録場所は観月台公園とあつかし山展望台。町の概要や特産品、将来の町づくり方針について紹介しました。

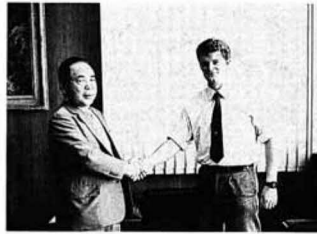
インタビュアーとして、国見電子株式会社社長の八島加奈美さんが出演、花を添えました。

（県中） 英語指導 頼みます

外国青年英語指導助手として国見、保原両町の中学校で英語指導にあたるキャラム・ナイトウイリアム・ワトソンさんが八月八日、役場を訪れ、富永武夫町長、蓬田英夫教育長に着任のあいさつをしました。

ワトソンさんはイギリスのエジンバラ出身で、セントアンドリュース大学卒業。二十三歳。

二期期から来年七月末までの一年間、英語やイギリスの文化について指導します。



▲富永町長と固い握手

国見町に感謝状

国見町は、平成元年年度の個人県民税収納成績優良市町村に選ばれ、福島県知事から感謝状が贈られました。



▲感謝状を受ける富永町長

伝達式は去る八月二十一日役場町長室で行われ、佐藤宗市福島県税事務所長から富永町長に感謝状、小林光雄町納税組合連合会長に記念の盾がそれぞれ手渡されました。

国見町が優良市町村に選ばれたのは今年で五年連続。今回表彰を受けたことは、町民皆さんをはじめ、納税貯蓄組合長さんの税に対する深いご理解と協力のためものであり、深く感謝を申し上げます。

上位入賞めざし 練習に汗流す

六月に設立された国見町駅伝競走部（神津武志部長・部員35名）の部員の皆さんは、暑い日差しの中、十一月二十五日に行われる第二回市町村対抗駅伝練習に励みます。



▲練習に励む部員の皆さん

駅伝競走大会（略称・ふくしま駅伝）に向けて、練習に汗を流しています。

ふくしま駅伝は、県民の体力向上と平成七年に本県で開催されるふくしま国体での中・長距離選手育成を目指し、白河市の白河総合運動公園をスタート、県庁前をゴールとする全長10.1kmのコースで行われます。こ

こは昨年の第一回を三十三市町村上回る七十七市町村が出場、女性ランナー三人を含む十四人の郷土の代表ランナーがタスキをつないで福島県を縦断します。

今後、部員の皆さんは福島市高湯で行う合宿をはじめ、十二回の合同練習を重ね、走力の向上とチームの輪を深めながら、本番での上位入賞をめざし、練習に励みます。

編集日記

○今年の夏は、残暑が本当に厳しい。この暑さに機械も参ったのか、企画商工課のクレーンが故障、流れる汗をふきながら、この編集日記を書いています。○年に一度の家庭サービスにと思ひ三泊四日の親子旅行。久しぶりに童心にかえり、水族館のイルカショーに、遊園地のジェットコースターにと、楽しんできました。

（K）